

御中

---

ゴルフ日本代表が世界に羽ばたくために!!

## 選手の育成・強化 ゴルフ日本代表 支援プログラムのご案内

《 協賛金の募集に関するお願い 》

公益財団法人 日本ゴルフ協会

協力 日本ゴルフサミット会議

2018.7月

2016年に行われたリオデジャネイロオリンピックにおいて、ゴルフ競技が112年ぶりに実施競技に復活いたしました。日本人選手はそれぞれ健闘いたしました。残念ながらメダル獲得とはなりませんでしたが、次はいよいよ2020東京オリンピックです。

現在の日本のゴルフ界は、1992年頃をピークに、ゴルファー人口ならびにゴルフ場来場者数は減少し、ゴルフ場数も減少しております。また、世界における日本の競技力は、残念ながらどんどん下がっております。組織的に向上を目指している韓国をはじめ、最近では、タイ、中国などにも後れを取り、今ここで立て直さなければ手遅れになるという危機感を持っております。

そこで、日本ゴルフ協会、日本プロゴルフ協会、日本女子プロゴルフ協会、日本ゴルフツアー機構の4団体は、東京オリンピックでのメダル獲得と、国際舞台で継続して活躍できる選手を数多く輩出して日本ゴルフ界の存在感を高める事が、日本のゴルフ振興に寄与することになると考え、将来性あるジュニアゴルファーの発掘育成からオリンピック強化指定選手を一貫した考え方で強化する、新しい「選手強化プログラム」と「指導者育成プログラム」を協働で構築し、選手の育成・強化に努めることといたしました。

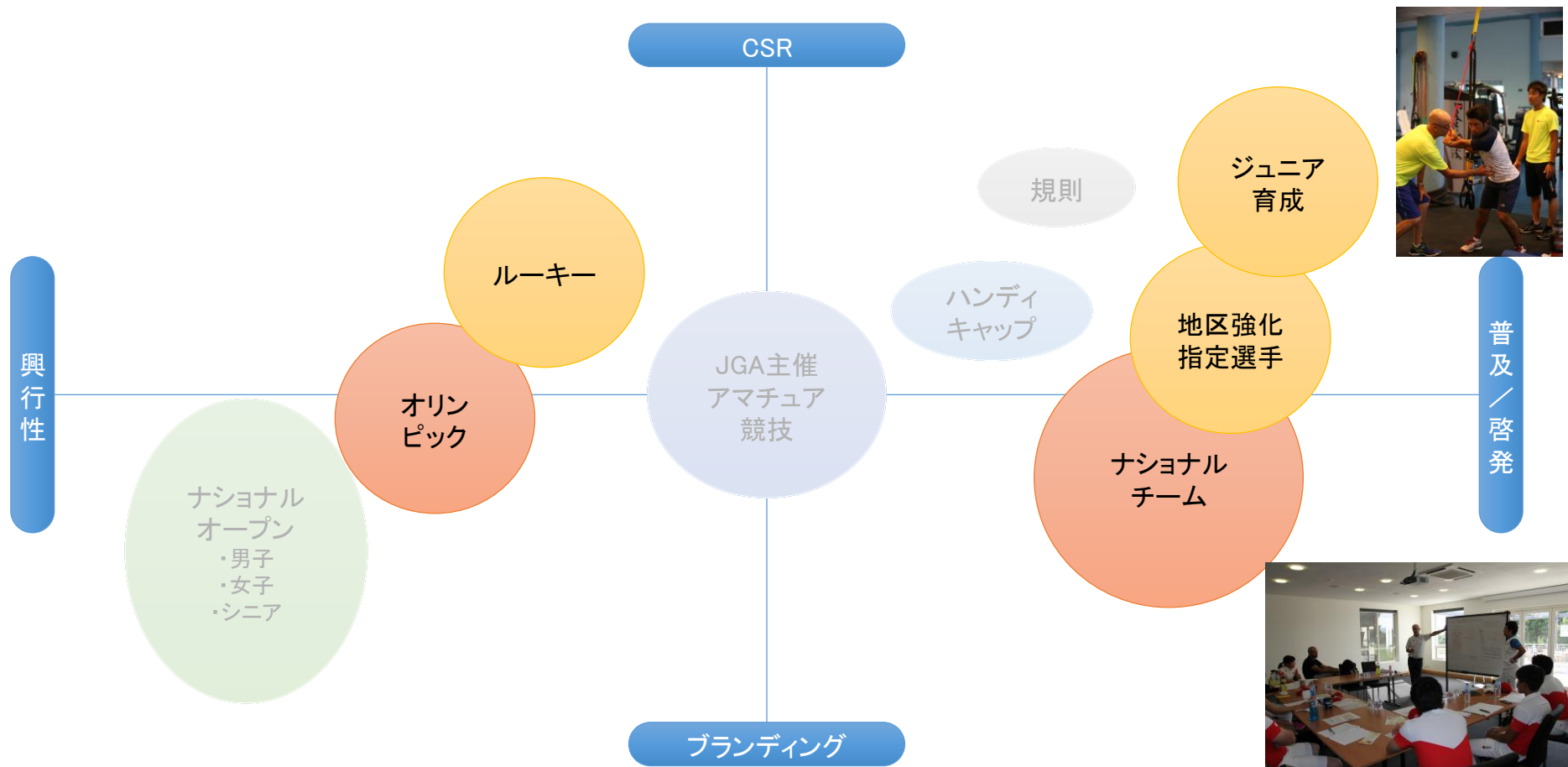
これらプログラムの構築を実現し、確かな成果を上げますためには、財政的な支援が必要でございます。  
御社におかれましては、この度の趣旨にご理解いただき、是非、お力添えを賜りたく、お願い申し上げます。

2018年3月

公益財団法人日本ゴルフ協会  
会長 竹田 恆正  
(日本ゴルフサミット会議 議長)

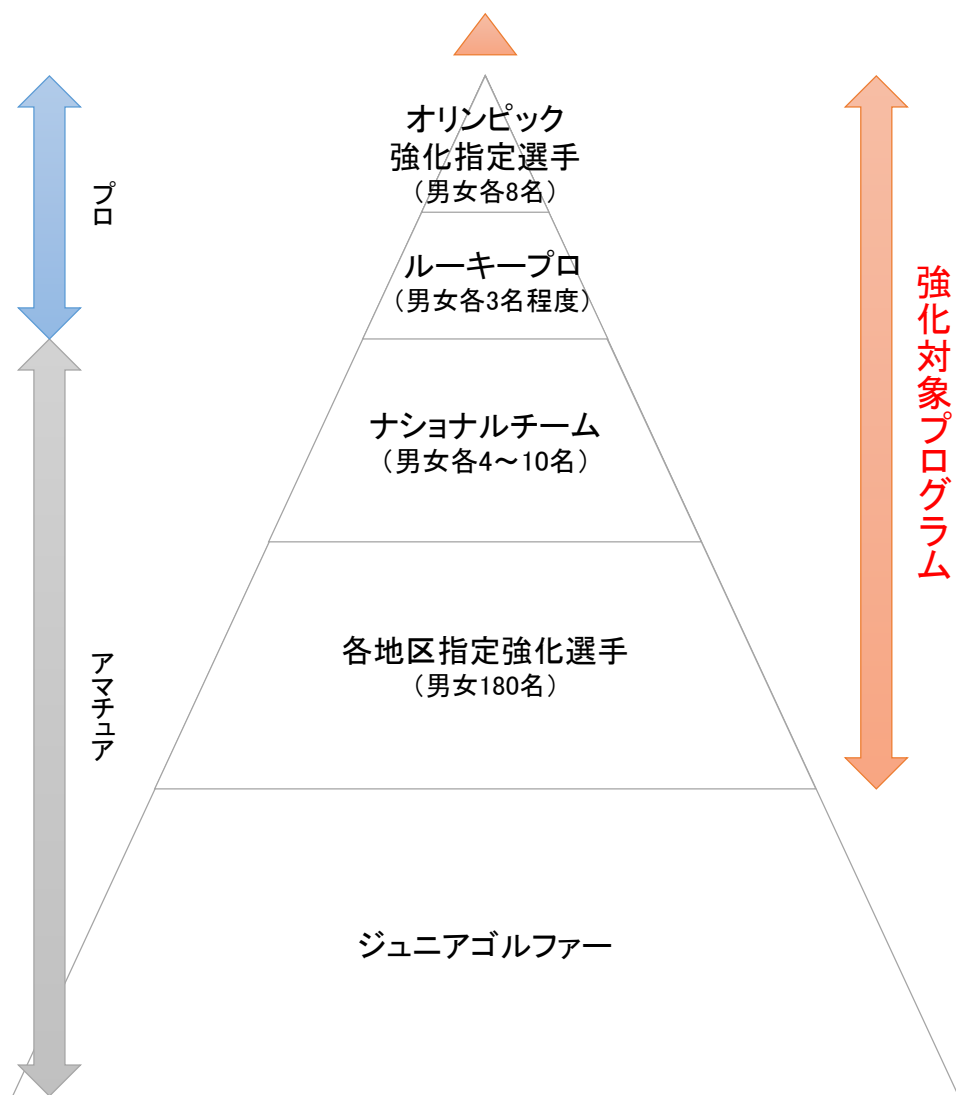
選手の育成・強化 ゴルフ日本代表支援プログラム

新たな選手強化プログラム(一貫強化)をサポートいただきます。



2020年東京オリンピックでのメダル獲得、海外メジャー競技での優勝など、世界における日本のゴルフ界の存在感を高めるサポートをお願いします。

## オリンピックでの日本選手の活躍!!



現在、日本を代表し、世界を舞台に戦っているゴルフプレーヤーの多くは、日本ゴルフ協会ナショナルチームの出身者となります。彼らに続く世代の育成を通して、世界最高峰のスポーツの祭典「オリンピック」で日本人選手が活躍するサポートをお願いいたします。

### 《ナショナルチーム出身の主なプロゴルファー》

#### 男子

池田勇太、伊澤利光、市原弘大、今平周吾、大堀裕次郎、片岡大育、片山晋呉、川村昌弘、香妻陣一郎、小平 智、小林伸太郎、近藤共弘、蘭田峻輔、谷原秀人、手嶋多一、時松隆光、永野竜太郎、深堀圭一郎、藤本佳則、松山英樹、丸山茂樹、宮里優作、宮本勝昌、矢野 東

#### 女子

有村智恵、上原彩子、大江香織、大山志保、岡山絵里、柏原明日架、北田瑠衣、佐伯三貴、酒井美紀、鈴木 愛、高村亜紀、永峰咲希、畑岡奈紗、服部真夕、服部道子、原江里菜、比嘉真美子、福嶋晃子、福嶋浩子、福田真未、藤本麻子、堀 琴音、宮里 藍、宮里美香、森田 遥、諸見里しのぶ、横峯さくら、吉田弓美子、若林舞衣子、渡邊彩香

(五十音順)

※2017男女日本ゴルフツアーシード選手

## アマチュアからプロまで、オリンピック(世界)で活躍できる選手を育成するための一貫したプログラムを提供

## STEP 1.

## 各地区強化指定選手

JGAナショナルチーム入りをを目指す将来有望なジュニアで、全国8地区連盟でJGAの方針に基づき育成・強化している選手。

## 【サポート内容】

- ・JGAナショナルチームの方針に基づき、主にフィジカル面とテクニカル面の強化を定期的にサポートし、スポーツ心理学や栄養学等のスポーツ科学に関する教育も実施。

## STEP 2.

## 日本ゴルフ協会ナショナルチームメンバー

世界のフィールドで戦うにあたって必要とされる実践的なスキルの強化を通して、「世界アマチュアランキング上位へのランクイン」を目指す。

## 【選考基準】

日本アマチュアランキングにより決定。男子:10名／女子:7名(2017年1月現在)

## 【サポート内容】

強化拠点及び国際競技大会において、以下の医科学的なコーチングサポートを実施

- ・フィジカルサポート
- ・競技分析サポート
- ・テクニカルサポート(動作解析を含む)
- ・メンタルサポート
- ・けがをした際の専門医による診断とリハビリメニューの提供

## STEP 3.

## ルーキープロ

海外ツアー参戦中の活動又は参戦を目指すための活動を通して、「オリンピック強化指定選手入り」を目指す。

## 【選考基準】

- ①日本国籍を有する者／②6か月以内にプロ転向を予定しているアマチュア及びプロ転向5年以内のプロゴルファー／③海外ツアー参戦者又は、3年以内に参戦を予定している者／④アマチュア又は、プロゴルファーとして、国内や国際大会において秀でた成績があること／⑤高校卒業か卒業見込みがある者

## 【サポート内容】

- ①競技場内外での4つのサポート提供  
フィジカルサポート／競技分析サポート／テクニカルサポート／メンタルサポート
- ②他国の強化指定選手との合同合宿

## STEP 4.

## JOC認定オリンピック強化指定選手

オリンピック競技大会で日本代表選手として、「オリンピックでのメダル獲得」を目指す。

## 【選考基準】

オリンピック・ゴルフ競技対策本部（プロゴルフ団体が参画、JGAがコーディネート）の強化委員会が定めた選出基準（国内ツアー最終戦終了時の世界ランキング）により選考し、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）が毎年男女各8名を認定する。

## 【サポート内容】

- ①オリンピック又は国際メジャー大会において以下のサポートを提供  
フィジカルサポート／競技分析サポート／テクニカルサポート／メンタルサポート
- ②他国の強化指定選手との合同合宿

## STEP 5.

## オリンピック（世界）での日本人選手の活躍

一人でも多くの日本人選手が世界と対等に渡り合えるよう、  
各種プログラムを全面的にサポートしていただくことで、  
日本のゴルフ全体を支えていただけます。



## 国際競技への日本代表選手の派遣や強化合宿の実施

- ①日本代表選手の国際競技への派遣及び強化拠点における強化合宿の開催
- ②オリンピック強化指定選手を対象とした強化拠点における強化合宿の開催

## (1)国際競技への派遣

JGAナショナルチームメンバーは、世界アマチュアチーム選手権やアジアアマチュアチーム選手権、アジア大会、ジュニアの世界大会などの国際競技に、日本代表選手として派遣されています。

## (2)強化合宿について

オリンピック強化指定選手、JGAナショナルチームメンバー、地区連盟強化指定選手は、定期的に、国立スポーツ科学センターやナショナルトレーニングセンターにおいて健康診断・体力測定を受診し健康管理を行うほか、ゴルフの強化拠点である、宮崎の「フェニックス・シーガイア・リゾート」を優先利用して、技術面とフィジカル面の強化を行なっています。

また、JGAのナショナルチームメンバーと地区連盟強化指定選手の強化には、オーストラリア人のプロコーチであるガース・ジョーンズ氏をヘッドコーチに迎え、最新の理論とテクノロジーに裏付けされたプログラムと指導を受けております。今後は、オリンピック強化指定選手、ルーキープロまで含めた強化体制を構築することとしています。

## 指導者育成プログラムの構築

選手強化プログラムを確実に機能させ、世界に通用する選手を作るためには、充実したコーチ陣が必要となるため、海外のヘッドコーチによる国内指導者の育成・強化を行うためのプログラムを構築する。

## ①JGA指導者ライセンス制度の構築

PGA/LPGA資格との連動を目指す

## ②海外コーチを招聘しての研修会の実施

【国内】  
JOCナショナルコーチアカデミー等で研修  
【海外】  
優秀なゴルフコーチのもとでの研修

③テクニカル／フィジカルコーチ等  
専門コーチ登録制度の導入、等



| 競技名                                      | 開催年(西暦) | 内容                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アイゼンハワートロフィー<br>世界アマチュアゴルフチーム選手権         | 偶数年     | 国際ゴルフ連盟(IGF)が主催する世界最大級の男子アマチュアゴルフチーム選手権。JGA副会長の野村駿吉氏がUSGAとの間でアマチュア対抗競技会を提案し、それがR&Aを賛同させ現在のIGFの設立となり、1958年に第1回大会が開催された。時の米国大統領のD.アイゼンハワー氏にあやかり名前がつけられた。現在では、約70ヶ国の出場がある。                                                            |
| エスピリトサントロフィー<br>世界女子アマチュアゴルフチーム選手権       | 偶数年     | IGFが主催する世界最大級の女子アマチュアゴルフチーム選手権。男子のアイゼンハワートロフィーから7年後の1964年に第1回大会が開催された。大会名は、トロフィーを寄贈したSilvia Espirito Santo氏にあやかり名前がつけられた。現在では、約55ヶ国の出場がある。                                                                                         |
| ノムラカップアジア太平洋<br>アマチュアゴルフチーム選手権(男子)       | 奇数年     | 1963年に創始された、アジア太平洋ゴルフ連盟(APGC)が主催するアジア太平洋地区最大の選手権。JGA副会長の野村駿吉氏が果たしたアジアアマチュアゴルフ界への貢献の偉業を称えて、「ノムラ」のタイトルがつけられた。                                                                                                                        |
| クイーンシリキットカップ<br>アジア女子招待ゴルフチーム選手権(女子)     | 毎年      | 1979年に創始された、タイ国女子アマチュアゴルフ協会が主催するアジア太平洋地区で唯一最大の団体戦。ゴルフを通じて同地区の友好を深めるとともに、スポーツマンシップの促進、女子ゴルフの普及及び発展を目的としている。「クイーンシリキットカップ」の由来は、同協会が第1回選手権を開催するにあたり、大会主旨に賛同されたタイ国のシリキット女王から優勝杯を寄贈されたことによるもの。                                          |
| ネイバーズトロフィーチーム選手権(男女)                     | 毎年      | 日本・韓国・台湾の3ゴルフ協会は、ナショナルチームの選手強化と国際親善を目的に2000年まで日本と韓国、日本と台湾との親善競技を開催してきた。その後、3協会間でアジアアマチュアゴルフ界を牽引するナショナルチームが互いに切磋琢磨する場を設け、アジア地域のゴルフ界の更なる発展に寄与するとともに共通意識が生まれ、2001年から3協会の親善競技を「ネイバーズトロフィーチーム選手権」として国際公式競技に位置付け、3協会が順番にホスト国となり毎年開催している。 |
| サーマイケルボナラックトロフィー<br>アジア太平洋選抜対ヨーロッパ選抜(男子) | 偶数年     | アジア太平洋ゴルフ連盟(APGC)とヨーロッパゴルフ協会(EGA)が各12名ずつの代表選手を選抜し開催する大陸間対抗戦。イングランド人のSir Michael Bonallack氏のゴルフへの貢献とその功績にあやかり大会が名付けられ、1998年に創始された。                                                                                                  |



| 競技名                                    | 開催年(西暦) | 内容                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| パツィーハンキンストロフィー<br>アジア太平洋選抜対ヨーロッパ選抜(女子) | 偶数年     | アジア太平洋ゴルフ連盟(APGC)とヨーロッパゴルフ協会(EGA)が各12名ずつの代表選手を選抜し開催する大陸間対抗戦。ニュージーランド人のPatsy Hankins女史のゴルフへの貢献とその功績にあやかり大会が名付けられ、2016年に創始された。                                                            |
| アジア競技大会(男女)                            | 4年毎     | アジアオリンピック評議会(OCA)が主催するアジアの国々のための総合競技大会。第2次世界大戦後にインドの提唱により、1951年に第1回大会が開催された。ゴルフ競技が正式種目となったのは、1982年の第9回インド大会の男子競技から。2000年の第11回大会から女子ゴルフも正式種目として採用された。選手は、日本オリンピック委員会(JOC)の公式選手団として派遣される。 |
| ユースオリンピック(男女)                          | 4年毎     | 国際オリンピック委員会(IOC)が主催する14～18歳までのユース世代を対象としたオリンピック競技大会。第1回大会は、2010年にシンガポールで開催された。ゴルフは、第2回大会の南京より正式種目として採用された。選手は、日本オリンピック委員会(JOC)の公式選手団として派遣される。                                           |
| ユニバーシアード(男女)                           | 奇数年     | 国際大学スポーツ連盟(FISU)が主催する総合競技大会。大学スポーツの発展や体育教育の振興のために開催され、第1回大会は1959年のトリノ大会。ゴルフ競技は、2007年から正式種目として採用された。選手は、日本オリンピック委員会(JOC)の公式選手団として派遣される。                                                  |

|    | 権利                                 | 権利内容                                                                                                 | パートナー         | サポーター         |
|----|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------|
| 1  | 呼称権<br>(使用規定あり)                    | 企業PRとして、下記呼称を使用することができます。<br>【使用例】「●●●は、JGAナショナルチームの活動を応援しています!!」                                    | ○             | ○             |
| 2  | 合同慰労会会場での社名<br>掲出                  | 12月に開催されるナショナルチーム合同慰労会会場に社名を掲出します。                                                                   | ○             | ○             |
| 3  | 合同慰労会へご招待                          | 12月に開催されるナショナルチーム合同慰労会へご招待します(2名)。                                                                   | ○             | ○             |
| 4  | JGAホームページへのバ<br>ナー掲出               | 選手強化のホームページに企業バナーを掲出する事が出来ます。                                                                        | ○             | ○             |
| 5  | 3オープンでの社名掲出                        | 3オープンギャラリープラザ内で協賛社名の一覧を掲出します。                                                                        | ○             | ○             |
| 6  | JGAゴルフジャーナル 社<br>名掲出               | JGAゴルフジャーナル(年2回発行)へ協賛社名の一覧を掲出します。                                                                    | ○             | ○             |
| 7  | フェニックスシーガイリゾート(FSR)<br>での無料宿泊・プレー権 | FSRゴルフコースに1組4人の方をご招待します(4人の方の1泊宿泊料金と<br>1日のプレー費用(グリーンフィ・キャディフィ・諸費用・税金))。<br>※交通費や食事代、個人購入物品は除きます。    | ○             | ○             |
| 8  | 集団肖像使用权(使用規<br>定あり)                | JGAナショナルチーム選手の集団肖像を使用し、活動を紹介しつつ自社が<br>支援していることを訴求する事が出来ます。                                           | ○             |               |
| 9  | 関連団体の会報誌に社名<br>掲出                  | ゴルフ関連団体が発行する会報誌に協賛社名の一覧を掲出します。<br>※16団体、地区連の中でページを提供していただける団体に限ります。                                  | ○             |               |
| 10 | 合宿会場での社名掲出                         | ナショナルチームの国内合宿会場で協賛社名の一覧を掲出します。                                                                       | ○             |               |
| 11 | JGA媒体のマーケティング<br>活用                | JGAジャーナルでの4色1頁広告(85,000部/年2回)、ジュニア会員<br>(10,000人)ならびにJGA主催競技会への参加者(5,000人)への郵便物<br>に協賛社のチラシを同梱いたします。 | ○             |               |
|    |                                    |                                                                                                      | 500万円<br>(税別) | 300万円<br>(税別) |

### ご留意いただきたい事項

- ・ 複数年契約でお願いいたします。
- ・ オリンピックスポンサーと競合した場合は、ご遠慮いただきます。

### お申込み・お問い合わせ

公益財団法人日本ゴルフ協会

担当 岩本 ／ 塩田

TEL. 03-3566-0003 ／ FAX. 03-3566-0101

ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。